

## 【第3号】

令和4年5月31日発行  
刊行物登録番号 2022-51  
調布市郷土博物館文化財係  
☎042-481-7656

✉[kyouhaku@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:kyouhaku@w2.city.chofu.tokyo.jp)

みんなで育む・感じる・発見する縄文のふるさと

# 国史跡下布田遺跡 史跡整備ニュースレター

## 市民ワークショップを開催しました！

下布田遺跡の整備テーマ「みんなで育む・感じる・発見する縄文のふるさと」実現に向けて、史跡整備事業に市民意見を反映させるために市民ワークショップを開催しています。全4回の内、第1回、第2回まで開催しております。本ニュースレターでは、ワークショップの検討過程や進捗状況をご紹介します。



## 第1回市民ワークショップ「下布田遺跡と整備基本計画について学ぼう」

令和4年4月17日(日)、11名の方に参加いただき、第1回ワークショップを開催しました。

### 1. 下布田遺跡整備基本計画の概要

第1回目のワークショップということで、事務局（郷土博物館文化財係職員）より下布田遺跡の歴史的概要・価値の説明、これまでの市の史跡整備の取組みや令和2年度策定の「史跡下布田遺跡整備基本計画」の説明を行いました。

### 2. ワークショップ内容説明

調布市では、これまでも史跡整備に市民意見を取り入れる取組として、ワークショップ、説明会、パブリックコメントを実施してきました。今回のワークショップは、今年度、史跡公園工事の基本設計を実施するにあたり、市民意見をより具体的に反映させるため、ワークショップテーマを、5つのテーマに設定しました。

### 3. 参加者自己紹介

参加者には、自己紹介として今回のワークショップにどのような思いで参加いただいたか話していただきました。歴史や自然に関して興味のある方が多く、整備への関心の高さが伺えました。

### 【ワークショップテーマ】

#### ①憩い

- ・憩いの場としての整備とは…
- ・散歩、ピクニック
- ・自然とのふれあい（植物鑑賞・昆虫採集など）

#### ②学び

- ・縄文時代の学習ができる整備とは…
- ・樹木管理や利用方法の学習とは
- ・縄文植物園の栽培、育成方法とは

#### ③活用

- ・史跡公園でやりたいこと
- ・ガイダンスの設備にほしいもの
- ・ボランティア組織設立に向けて

#### ④防犯・防災

- ・防犯機能はどのようなものが必要か
- ・防災機能等は必要か
- ・公園利用の決まりはどのようなものが必要か

#### ⑤イベント

- ・イベント（縄文祭りなど）の開催 ・ イベントの規模・内容は

## 第2回市民ワークショップ「下布田遺跡の整備について話し合おう」

令和4年5月15日(日)、13名の方に参加いただきました。第2回は、各地の史跡整備事例を事前に見学いただき、そこから得た気づきを紹介いただく取組みを行いました。

### 1. 各遺跡整備事例紹介

事務局より熊野神社古墳(府中市)、本町田遺跡(町田市)や、世界遺跡にも認定された大船遺跡(北海道函館市)等の整備事例紹介を行いました。

### 2. 参加者見学事例紹介・発表



【参加者 A】下宅部遺跡(東村山市)は最寄り駅から公園までた

どりつけず、数人に道を尋ねたが、知っている人が少ない。ガイダンス施設への案内等も現地にないため、誘導する設備が必要。公園は芝生の広場が広がっているが、有効に活用できている状況ではなく、もったいないと感じた(ご意見抜粋)。

【参加者 B】生物多様性の大切さが言われる現在、子どもが自然に触れる環境が重要。野川公園は、芝張り、腐葉土等、場所により、仕様を変えている。下布田遺跡も、史跡保存への配慮から、全面を腐葉土にすべきとは言わないが、一角だけでも腐葉土が残せると良い(ご意見抜粋)。

【参加者 C】本町田遺跡、勝坂遺跡(神奈川県相模原市)、田端遺跡(町田市)は来訪者がおらずさみしい。加曾利貝塚(千葉県千葉市)や三内丸山遺跡(青森県青森市)はイベント、ボランティアも多く、活用が盛ん。史跡公園の共通点は、人がおらず寂しい雰囲気とアクセスが悪く奥地であること。ボランティアの組織化、人が集まる楽しい仕掛けが必要(ご意見抜粋)。

【参加者 D】田端遺跡や都埋蔵文化財センター縄文の村(多摩市)は、たどり着くまで、高揚感がわかずドキドキ感がないため、アプローチの工夫が必要。雑木林ボランティア講座を受講したかが、雑木林との共存は、地中を乱すこともあり、史跡保全には影響を及ぼす可能性がある(ご意見抜粋)。

【参加者 E】公園整備には、整備後も人を集める工夫が必要。雑木林の維持管理も含めると、予算もないため蚊取り線香取らなくなってしまふ。どのような施設にするか優先順位をつける必要がある(ご意見抜粋)。

【参加者 F】分室建物の周囲にツル植物等を這わせ、景観になじむ雰囲気はどうか(ご意見抜粋)。

【参加者 G】下布田遺跡の整備に防災設備があるといいと思う。現在の環境は小学生が探検するのに良く、学校の社会科見学や環境学習に適しており、活用できればいい(ご意見抜粋)。

【参加者 H】武蔵国府跡(府中市)は、柱の展示が狭い空間ながら工夫されていてよい。観光ボランティアガイドの観光コースが4コースあり、人がいないところを守る仕組みとしてよい(ご意見抜粋)。

### 2. まとめ

共通の感想は、史跡・ガイダンス施設に来訪者がいない、アクセスが悪い、場所が分かりづらいといった点でした。人を集める工夫として、イベント、ボランティア制度運用等の工夫が必要との意見が出されました。

まだ間に合う！

## 今後のワークショップ予定

### 第3回

「下布田遺跡の現地をみてみようー遺跡の価値を伝える整備について考えようー」  
日時：令和4年6月19日(日)午前10～11:30 会場：下布田遺跡(郷土博物館分室)  
★参加者追加募集中。

### 第4回

「下布田遺跡整備への意見をまとめよう」  
日時：令和4年7月17日(日)午前10～11:30 会場：教育会館301・302研修室  
★参加追加募集は6月21日から募集開始。(状況により受付終了となる可能性もあります)。

申込：電話で調布市郷土博物館文化財係まで 042-481-7656